

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	1-1-3		事業名	多様な子育てサロン事業の充実
担当	子ども未来局子育て支援部子育て支援課 原田 Tel 211-2988			
全体計画				
事業内容	子育て家庭の孤立化や子育ての不安を解消し、安心して子育てができるように、地域主体の子育てサロンの設置運営支援のほか、市役所庁舎で開催するシティサロンや商業施設などの空きスペースを活用する子育てサロン(どこでもサロン)を開設する。		＜年度別の事業内容＞	
			(19年度)地域主体の子育てサロン立上げ支援と奨励金の支給。シティサロンの実施 (20年度)19年度の事業継続、どこでもサロンの実施の検討 (21年度)19年度の事業継続、どこでもサロンの立上げ支援 (22年度)同上	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体の子育てサロン165箇所。なお、地域主体の子育てサロンの立上げに際し、遊具や敷物の購入、会場費、保険加入の支援を行った。 ・一定の要件を満たす地域主体の子育てサロンに対し奨励金を支給し、運営の支援を行った。 ・シティサロンは19年8月より毎月1回市役所本庁舎にて実施。累計326人参加。企業協力で実施。スタッフは子育てアドバイザー。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体の子育てサロン175箇所。なお、地域主体の子育てサロンの立上げに際し、遊具や敷物の購入、会場費、保険加入の支援を行った(8箇所)。 ・一定の要件を満たす地域主体の子育てサロンに対しての奨励金を支給し、運営の支援を行った(66箇所)。 ・シティサロン:新規事業として予算措置されていないが、既往予算の節約により対応し、20年度も企業協力で実施。スタッフは子育てアドバイザー。累計433人が参加。 ・どこでもサロン:新規事業として予算措置されていないが、既往予算の節約により対応し、企業協力の在り方も含めて、事業の方向性の検討に着手した。 	
	子育てサロンが開催されている地域の割合 90%(187/207校区)		子育てサロンが開催されている地域の割合 92%(191/207校区)	
	量		場	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体の子育てサロン175箇所。なお、地域主体の子育てサロンの立上げに際し、遊具や敷物の購入、会場費、保険加入の支援を行った(2箇所)。 ・一定の要件を満たす地域主体の子育てサロンに対しての奨励金を支給し、運営の支援を行った(66箇所)。 ・シティサロン:新規事業として予算措置されていないが、既往予算の節約により対応。スタッフは子育てアドバイザー。累計321人(154組)が参加。 ・どこでもサロン:新規事業として予算措置されていないが、企業協力の在り方も含めて、引き続き事業の方向性についてを検討している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体の子育てサロン179箇所。 ・地域レベルで子育てサロンを立ち上げる団体に対し、遊具や敷物の購入、会場費、保険加入及び、情報提供などの立上げ支援を行った(5箇所)。 ・一定の要件を満たす地域主体の子育てサロンに対し奨励金を支給し、安定した継続運営のための支援を行う(67箇所)。 ・シティサロン:22年度は予算措置されず企業協力も得られていないが、既往予算により対応し、毎月1回市役所本庁舎にて実施した。スタッフは主に子育てアドバイザー。累計495人(242組)が参加。 ・どこでもサロン:予算措置されていないが、企業協力の在り方も含めて、引き続き事業の方向性について検討をした。 ・4定補正予算により、167箇所の子育てサロンに対して遊具等の貸し出しを行い、運営団体の遊具等に係る経費の負担軽減を図った。 	
子育てサロンが開催されている地域の割合 92%(191/207校区)		子育てサロンが開催されている地域の割合 92%(191/207校区)		
件数		等		

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-1-3			事業名	多様な子育てサロン事業の充実		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
子育てサロンが開催されている地域の割合(小学校区)	86%	90%	92%	92%	92%	100% (21年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域主体の子育てサロンは町内会等の地域が運営し、区では、情報提供のほか子育てボランティアの養成を行い連携を深める努力をしている。 ・シティサロンでは養成された子育てアドバイザーが有償ボランティアとして参加している。 <p>■企業等との連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力](該当なし) <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域主体の子育てサロンは町内会等の地域で運営しており、地域の親子が気軽に参加できる環境が作られてきている。 ・シティサロンは街中にある本庁舎での開催であり、開催時間も長い時間、買い物ついでに立寄るなど親子のくつろぎの空間としての役割も果たしている。 							
評価(成果)				課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体の子育てサロンを含む市内の子育てサロン全体では、設置数の増加に伴い、参加組数も大きく増加(平成19年度229,084組、平成20年度237,880組)していたが平成21年度は、新型インフルエンザの影響等で中止した子育てサロンが数多くあったことなどから、参加者数が減少(平成21年度200,301組)した。平成22年度実績は、223,765組。 ・シティサロンについては495人の参加があり、昼食を挟む時間設定で長時間を過ごす親子もいるなど気軽につどい親子の関わりや、他の親子との交流を深めることにつながった。また、実践的な親支援の知識を有する子育てアドバイザーに活動の場を提供することで、内容の充実にもつながっている。 				<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体の子育てサロンは、実施主体の安定的な運営、場所の確保や遊具の準備などクリアすべき課題も多い。また、未設置小学校区に1箇所以上の子育てサロンを設置するための支援を行っていくが、対象児の居住数の少ない学校区や隣接校区の至近地域にサロンがあるなどの新設需要の低い校区については、立ち上げの適否を見極めるとともに、人材枯渇による地域運営力が確保できない校区等の点検が必要である。 ・どこでもサロンについては、近年の社会経済状況下では、企業協力(後援)の確保が困難になりつつあり、また、地域主体の子育てサロンが数多く整備されてきている状況からも、今後は事業のあり方について検討が必要である。 ・シティサロンについては、会場としている本庁舎会議室の通年の利用が困難な状況となり、23年度以降会場を提供してくれるような企業の募集についても検討していく必要がある。 			
今後の事業の予定・方向							
<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体の子育てサロンについては、現在まで相当数が立ち上がっているため、積極的な立ち上げを進める校区を見極めていくとともに、事業の中心を安定的・継続的な運営の支援にシフトしていくために、子育てボランティアの質・人員のレベルアップを図るほか、新たな担い手を確保する必要がある。 ・シティサロン、どこでもサロンについては事業のあり方を検討しながら、事業化に際しては予算確保にも努める。 							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		1-1-3			事業名	多様な子育てサロン事業の充実				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	4,100	4,600	4,600	4,700	18,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
	一般財源	4,100	4,600	4,600	4,700	18,000				
予算	事業費	4,100	3,200	2,600	11,300	21,200				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	1,224	950	800	2,974				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
	一般財源	4,100	1,976	1,650	10,500	18,226				
実績	事業費	2,267	1,392	870	9,352	13,881				
	財源内訳									
	国・道支出金	1,800	1,350	870	800	4,820				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
	一般財源	467	42	0	8,552	9,061				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					77.1%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
地域主体の子育てサロンの立ち上げ支援については、14か所(予算上15か所)に対して実施しており、1か所あたりの支出が少なかったことから、予算を下回った。										
[20年度]										
地域主体の子育てサロンの立ち上げ支援については、8か所(予算上10か所)に対して実施しており、1か所あたりの支出が少なかったことから、予算を下回った。										
[21年度]										
地域主体の子育てサロンの立ち上げ支援については、2か所(予算上10か所)に対して実施しており、1か所あたりの支出が少なかったことから、予算を下回った。										
[22年度]										
地域主体の子育てサロンの立ち上げ支援については、5か所(予算上10か所)に対して実施しており、1か所あたりの支出が少なかった。また、地域主体の子育てサロンの運営支援を目的として、当初予算額2,300千円に加えて4定補正にて9,000千円が予算措置され、全サロンに対し遊具等の貸し出しを行ったが、貸し出し物品が想定より安価で購入できたことから予算を下回った。										